

平成 29 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社大森屋
 代表者名 代表取締役社長 稲野 龍平
 (JASDAQ・コード2917)
 問合せ先 経理部長 中田 勝
 電話06-6464-1198

平成 29 年 9 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成28年11月11日に公表しました平成29年9月期の第2四半期連結累計期間(平成28年10月1日～平成29年3月31日)の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 9 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想と実績値との差異

(平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	8,410	60	65	30	5.91
実績値 (B)	8,310	103	110	62	12.23
増減額 (B - A)	△99	43	45	32	—
増 減 率 (%)	△1.2	73.3	70.0	106.8	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績(平成 28 年 9 月期第 2 四半期)	8,494	25	33	1	0.23

2. 差異の理由

当社の主要原材料である原料海苔が近年収穫量の不安定なことなどにより、仕入価格の高騰が続いており、収益を圧迫する要因となっておりました。このコスト上昇分を販売価格の値上げによりカバーするべく販売活動を展開するとともに、販売促進費を中心とした経費削減に注力し、収益の改善に努めてまいりました。その結果、当第 2 四半期連結累計期間においては、売上高は販売価格の値上げによる販売数量の減少により、当初予想を下回りましたが、利益面におきましては、採算が改善し前回予想を上回る結果となりました。

なお、利益面において当第 2 四半期連結累計期間は予想を上回って推移しておりますが、当年度の収穫期においても原料海苔仕入価格が更に高騰するなど、第 3 四半期以降の業績については不透明な要因があるため、通期の業績予想については、前回公表時から変更しておりません。

(注) 上記の予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上